

## 2004 年度研究発表会プログラム

### 大会一日目

10月16日(土) 第一会場(3号館101教室)

セッション「自然環境」、座長:矢持進(大阪市立大学)

1	10:15-10:40	「DEM と GIS を用いた環境特性の把握」 工藤晃央、三沢勝也((株)ドーコン)、中森 達((有)北海道生物地理)、吉村暢彦(NPO 法人エンビジョン環境保全事務所)旭 峰雄、石澤 寛、片岡朋子(国土交通省北海道開発局)
2	10:40-11:05	「水域でのモデルによる環境影響予測手法の現状と今後」 寺澤知彦((株)中電シーティーアイ)、中村義治(水産総合センター)、中村幹雄(日本シジミ研究所)、青木伸一(豊橋科学技術大学)
3	11:05-11:30	「個体群存続可能性分析による生態系の定量評価」 夏原由博(大阪府立大学)

10月16日(土)第二会場(3号館102教室)

セッション「環境影響評価」、座長:沖山文敏((株)オオバ)

1	10:15-10:40	「環境影響評価法施行後における公衆参加の実態」 平賀俊彦(東京工業大学大学院 院生)
2	10:40-11:05	「環境アセスメントの事後調査結果の評価手法について ~ 中城湾港泡瀬地区公有水面埋立事業における事例 ~」 赤倉康寛、酒井洋一、富田幸晴、石原正豊(沖縄総合事務局)、溝口忠弘((財)港湾空間高度化環境研究センター)、松下訓、細谷誠一((株)国土環境)
3	11:05-11:30	「環境影響評価制度における公聴会の実施内容に関する分析」 村山武彦(早稲田大学)、堀川顕一(東京大学大学院院生)
4	11:30-11:55	「わが国の高レベル放射性廃棄物地層処分事業における環境アセスメント」 高橋美昭、北山一美、竹内光男(原子力発電環境整備機構)、小田信治、小松裕幸(清水建設(株))
5	11:55-12:20	「環境アセスメントにおける複数案検討に関する一考察」 持木克之(埼玉県)

## 大会二日目

10月17日(日) 第一会場(3号館101教室)

セッション「自然環境」、座長:中村義治((独)水産総合研究センター)

1	10:00-10:25	「HSIモデルの傾向と今後の課題」 久喜伸晃(武蔵工業大学大学院 院生)、吉沢麻衣子(アオイ環境株式会社)、田中章(武蔵工業大学)
2	10:25-10:50	「カジカ大卵型のハビタット適性指数(HSI)モデル構築の取組み」 佐藤光昭(日本エヌ・ユー・エス(株))、奥田耕司(富士通エフ・アイ・ピー(株))、矢代幸太郎(株)東京久栄)
3	10:50-11:15	「浅海域に適用する魚類ハビタット適性指数(HSI)モデル構築の取組み」 矢代幸太郎((株)東京久栄)、奥田耕司(富士通エフ・アイ・ピー(株))、佐藤光昭(日本エヌ・ユー・エス(株))
4	11:15-11:40	「トウキョウサンショウウオのハビタット適性指数(HSI)モデル構築の取組み 実測値を用いた妥当性検証と仮想事業への適用について」 上杉章雄(飛鳥建設(株))、雨嶋克憲(パシフィックコンサルタンツ(株))、岡田圭司((株)環境指標生物)、栗原彰子((株)プレック研究所)、小松裕幸(清水建設(株))、松岡明彦((株)環境管理センター)、諸藤聡子((株)協和コンサルタンツ)、伴武彦((株)ポリテック・エイディディ)、田中章(武蔵工業大学)
5	11:40-12:05	「国内動植物8種におけるHSIモデル検討の試み」 伴武彦((株)ポリテック・エイディディ)

10月17日(日) 第二会場(3号館102教室)

セッション「社会環境評価」、座長:作本直行(アジア経済研究所)

1	10:00-10:25	「都市環境リスクにおける社会的損失」 佐藤美恵子(明海大学大学院 院生)
2	10:25-10:50	「諸外国における政策レベルに適用されるSEA制度と日本への適用可能」 林希一郎((株)三菱総合研究所)、富安健一郎(環境省)
3	10:50-11:15	「ODAの環境影響評価プロセスと新ガイドラインの可能性」 二宮浩輔(九州共立大学)
4	11:15-11:40	「JICAの環境社会配慮ガイドライン改訂の意義」 原科幸彦(東京工業大学大学院)
5	11:40-12:05	「貿易自由化の環境影響評価手法のフレームワークの考え方」 林希一郎、宮原紀壽((株)三菱総合研究所)、新田晃(環境省)